

2020年度活動報告書

三輪真弘 / 教授

今年度の活動

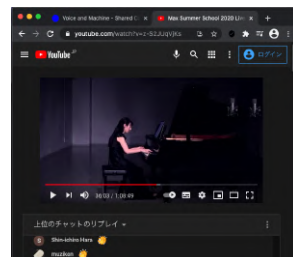
学長として4年目も、岐阜県、大垣市、ソフトピア、公立大学協会などに関連する多くの会合や式典に出席するなど大学の発展に努力し、また念願だった博士課程設置が認可され、次年度3人の博士課程後期学生が入学することになった。

個人の作品発表などは新型コロナウイルスの影響で今年度も従来の形ではほとんどなかった一方で、サラマンカホール主催、京都大学人文科学研究所とIAMAS（タイムベースドメディア・プロジェクト）との共催でサラマンカホールからの無観客ライブ配信「ぎふ未来音楽展2020 三輪真弘祭 - 清められた夜 -」に総力を挙げて取り組み、世界中からライブ配信の視聴回数3000以上、同時視聴者数約500人の視聴者を得た。また、この公演は様々な新聞やウェブの記事、批評などでもとりあげられ、この公演に対して2020年度第20回佐治敬三賞が贈られた。また同時に、「わが国の洋楽の発展にもっとも顕著な業績をあげた」個人として2020年度 第52回の「サントリー 音楽賞」を受賞した。

学外の活動

作品発表

- ・ 7/24 IAMAS OPEN HOUSE 2020、タイムベースドメディア：サラマンカホール「三輪真弘祭」に向けてトークと公開リハーサル（ライブ配信）でフォルマント兄弟の《霊界ラヂオ》と《ボイパと海行かば》を試演
- ・ 8/5 東京芸術大学、MAXサマースクールで「虹機械 はじまりのうた」を再演（ライブ配信 ピアノ：山内敦子）
- ・ 9/19 サラマンカホール、「ぎふ未来音楽展2020 三輪真弘祭 - 清められた夜 -」（ライブ配信）で



- ▶ 三輪眞弘《鶏たちのための五芒星》（2020 サラマンカホール委嘱）世界初演
- ▶ ヨハネス・オケゲム《死者のためのミサ曲》（15世紀）フォルマント兄弟によるMIDIアコーディオンとオルガン版世界初演
- ▶ フォルマント兄弟《霊界ラヂオ》+《ボイパと海行かば》（2020）世界初演
- ▶ 三輪眞弘 箏と風鈴のための《もんじゅはかたる》（2019）再演
- ▶ 三輪眞弘《神の旋律+流星礼拝》（2020版）信者へのメッセージ再演
- ・ 2/23 IAMAS 2021展、タイムベースドメディア：マルガサリ特別公演（ライブ配信）で『人形たちのための五芒星』を世界初演

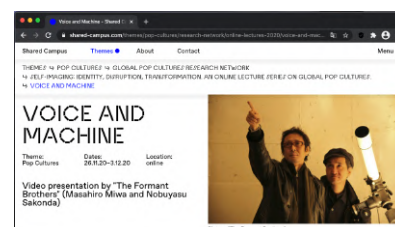
講演、その他

- ・ 7/1 季刊誌「音楽の世界」2020年夏号に「清潔な社会」寄稿
- ・ 8/23 音楽音響研究会（@岐阜）で「音楽が終わったら」招待講演（オンライン）
- ・ 8/28 サラマンカホール、「ぎふ未来音楽展」プレ・イベント『三輪眞弘祭 - 清められた夜 - プロローグ「音楽の終わりの終わり」は、ここからはじまる-』に登壇（オンライン）
- ・ 11/25 京都大学人文科学研究所共同研究班による
["生きるための人文学 第三回「コロナ時代の未来の音楽」](#)公開
- ・ 11/- Ideas Sónicas #23 (Bilingual publication of the Mexican centre for music and sonic arts)にフォルマント兄弟として
「Activities and thoughts of the Formant Brothers」寄稿
- ・ 12/12 科学研究「脱マスメディア時代のポップカルチャー美学に関する基礎研究」第五回オープン研究会「9.19 三輪眞弘祭-清められたよる」をめぐって”で発表、対談、ディスカッション



教育活動

- ・ 8/3 - 5 東京芸術大学、MAXサマースクールで授業（「虹機械 はじまりのうた」を再演。ピアノ：山内敦子）
- ・ 11/26 Shared Campus・ポップカルチャーズ研究グループのオンラインレクチャーシリーズで"Voice and Machine"を公開。"Video presentation by "The Formant Brothers" (Masahiro Miwa and Nobuyasu Sakonda)
- ・ 2021. 2/ 20, 21 インターカレッジ・ソニックアーツ・フェスティバル 2020及び第44回JSSA研究会にIAMASとして参加（学生の作品・研究発表）



研究活動

- ・ 京都大学人文科学研究所「21世紀の人文学 - Our Ageを問う」研究班、班員（通年）
- ・ 京都大学人文科学研究所「「システム内存在としての世界」についてのアートを媒介とする文理融合的研究」研究班、班長（通年）

社会的活動

- ・ 先端芸術音楽創作学会インターカレッジ・ソニックアーツ・フェスティバル運営委員
- ・ 清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2020企画委員
- ・ 日本作曲家協議会理事
- ・ 日本電子音楽協会理事
- ・ 入野賞審査委員
- ・ 第71回芸術選奨芸術振興部門選考審査員
- ・ 学長としてソフピア、大垣市、岐阜県関係の役職多数

受賞

- ・ 2020年度 第52回「サントリー 音楽賞」
- ・ 2020年度第20回佐治敬三賞（「ぎふ未来音楽展2020 三輪真弘祭 - 清められた夜 -」に対して）



パブリケーション

出版：

- ・ 2021 3/ 5 伊東信宏「東欧音楽夜話」（音楽之友社）に”三輪真弘＋前田真二郎「新しい時代」の蘇演”掲載
- ・ 2021 3/ 5 北野圭介「ポスト・アートセオリーズ」（人文書院）に”呼び覚まされる声ー三輪真弘＋前田真二郎「モノログ・オペラ『新しい時代』」掲載
- ・ 「メディア変容と新型コロナウイルス 記録集」（脱マスメディア時代のポップカルチャー美学に関する基礎研究）第五回オープン研究会「9.19 三輪真弘祭ー清められた夜」をめぐって（三輪真弘＋室井尚）収録

新聞・雑誌：

- ・ 4/11 中日新聞インタビュー記事「生誕250年ベートーベンのピアノ曲 現代作曲家三輪真弘に聞く」を掲載
- ・ 9/17 中日新聞
[音楽文化しのぶ「通夜」テーマ 三輪真弘の公演配信](#)
- ・ 9/19 岐阜新聞
神秘の現代音楽 今夜ライブ配信（by 大堀瑠美）
- ・ 10/10 中日新聞
[＜コロナとエンタメ＞ 瀕死の音楽芸術、再起問う 岐阜で催し](#)（by 花井康子）
- ・ 12/17 朝日新聞デジタル
[（回顧2020）音楽・クラシック 公演減、内省が生んだ希望](#)
片山杜秀「私の3点」に2020年公演から『三輪真弘祭』が選出

放送・ウェブ：

- ・ 9/14 ONTOMO 林田直樹のミニ音楽雑記帳 No.28
[ニワトリも出演？ 音楽のお通夜をする挑戦的なライブ配信「三輪真弘祭・清められた夜」](#)
- ・ 12/28 IAMAS WEB イベントレポート
[ぎふ未来音楽展2020「三輪真弘祭 -清められた夜-」を振り返って](#)
伊東信宏（音楽学者・大阪大学文学研究科教授）

学内での活動

- ・ プロジェクト：タイムベースドメディア・プロジェクト代表
- ・ IAMASガムラン楽団（仮名）の結成、運営、演奏（今年度は中止）
- ・ 担当授業：メディア表現特論A、特別研究（作品制作、論文指導）
- ・ 個人プロジェクト：作曲、執筆ほか
- ・ 学内での役割：学長として精進した（特に博士課程新設申請が認可され学生募集を始めた）